



KONICA MINOLTA

HONDA



Racing Specialities



Driver Stand 2りんかん



UNDER ARMOUR
PERFORMANCE APPAREL



The Nutrition Behind Performance™



PINS
FACTORY®

RED BULL U.S. GRAND PRIX

2007年 MotoGP 世界選手権シリーズ 第11戦

ラグナ・セカ(アメリカ)[7月22日(日) 決勝 天気 晴れ]

#56 中野真矢 [予選9位 決勝12位 総合ランキング17位]

アメリカGPは、初日からマシンの感触は良いのだが、各コーナーで少しずつ遅れをとってしまい順位が上がらなかった。

予選ではセッティングを見直して、9位まで挽回することができた。

決勝は、スタートして良い位置につけられて、練習よりも速いペースで走れたので、序盤はレースを楽しめた。

しかし、中盤からフロントが跳ね始め、コーナースピードが落ちたので、後半はペースを上げることが出来なかった。

結局12位でゴール。

順位には満足できないが、前回リタイアしているので走りきることができてよかった。これで夏休みになるが、次のブルノに何か新しいパーツが来ることを期待している。



ジャンルカ・モンティロン (コニカミノルタホンダチーム 監督)



今回は、スタート直後からいい位置につけ、その後も真矢はセカンドグループをキープし、良いリズムで走行していた。

しかし、我々のテクニカルパッケージは他のライダー達ほど速くはなかったのだろう。

その後タイヤがたれ始めるとチャタリングの問題が出てきてしまった。

今回、順位には現れてはいないが、真矢がセカンドグループでレースできたことはポジティブであり、ライダーもモチベーション保てる。

そして、これから次のブルノまで休みに入るが、それまでに、他のチームが使っている新しい物が供給される可能性がある。

それを期待しているよ。